

令和7年度「学校教育自己診断」の結果および分析

表中の数字は 1よくあてはまる 2ややあてはまる 3あまりあてはまらない 4まったくあてはまらないのうち、
1よくあてはまる と 2ややあてはまる の合計

令和7年度 学校教育自己診断（生徒） 経年比較

番号	項目	R5	R6	R7
1	岸和田高校に入学して満足している。	91.2%	89.4%	91.6%
2	岸和田高校は、授業や部活動に熱心な先生が多く、その指導方針に納得できる。	88.1%	88.0%	90.2%
3	岸和田高校での授業に満足している。	87.7%	86.0%	87.5%
4	岸和田高校は、文化祭や体育祭・校外学習などの学校行事が盛んで、生徒は楽しく参加している。	92.9%	92.9%	92.2%
5	岸和田高校は、部活動が活発で、生徒は部活動に熱心に参加している。	92.8%	95.6%	94.5%
6	岸和田高校は、課題研究をはじめとする探究的な学習や、関連行事など特色ある教育活動が行われている。	94.3%	95.5%	95.0%
7	岸和田高校での授業やさまざまな活動において、1人1台端末を積極的に活用している。	90.3%	93.8%	94.6%
8	岸和田高校は、いじめなど私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	92.0%	93.3%	94.1%
9	岸和田高校は、将来の進路や職業などについて、講演会や説明会を実施するなど適切な指導をおこなっている。	94.5%	95.5%	95.7%
10	土曜日は学校や家庭において、学習時間として活用している。 (R5)土曜日の午前中は自学自習や学校の講習に参加するなど、学習時間として活用している。	51.4%	66.1%	71.6%
11	保健室や相談室などで気軽に相談できる。	71.8%	72.3%	71.5%
12	岸和田高校では、あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある。	84.7%	85.1%	84.4%
13	岸和田高校は、メールサービスやクラスルーム、ホームページ、校長ブログ等によって、学校の情報が発信されている。	92.4%	93.2%	95.5%
14	学校に行くのが楽しい。	89.8%	89.5%	89.8%

令和7年度 学校教育自己診断（保護者） 経年比較

番号	項目	R5	R6	R7
1	子どもが岸和田高校に入学して満足した高校生活を送っている。	91.6%	91.8%	95.4%
2	岸和田高校では、学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	82.5%	88.0%	94.1%
3	岸和田高校は教員の教科指導力の向上に積極的に取り組んでおり、子どもは授業が分かりやすいと言っている。	82.1%	78.5%	82.3%
4	岸和田高校では、文化祭や体育祭などの学校行事に生徒は楽しく生き生きと参加している。	96.4%	95.3%	97.6%
5	岸和田高校の指導方針全般に共感できる。	91.6%	90.4%	92.8%
6	岸和田高校は、課題研究をはじめとする探究的な学習や、海外研修・SSH関連行事など特色ある教育活動が行われている。	96.1%	97.0%	99.1%
7	岸和田高校は、いじめなど子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	90.5%	89.5%	88.5%
8	岸和田高校は将来の進路や職業などについて、進路指導部を中心として講演会や説明会を実施するなど適切な指導を行っている。	93.6%	90.4%	94.4%
9	岸和田高校での学校行事やPTA活動に参加したことがある。	68.7%	75.0%	76.7%
10	岸和田高校は懇談や家庭連絡などを通じて、保護者と相談しやすい体制を作っている。	86.7%	75.1%	78.6%
11	岸和田高校では、あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある。	83.1%	83.6%	86.5%
12	岸和田高校は、メールサービスやホームページ、校長ブログ等を利用して教育活動をわかりやすく伝えている。	93.8%	92.3%	95.7%
13	子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	86.7%	87.3%	93.3%

今年度の生徒による学校教育自己診断の結果については、上記のとおり、この3年間で最も高い数値となった項目、昨年度下がった数値が一昨年度に戻った項目、数値が微減した項目など、項目によって差が見られた。

一方、保護者による結果については、ほぼすべての項目において、肯定的評価の割合が昨年度より高くなった。それぞれの項目について、令和5年度から3年間の肯定的評価の割合の推移も見ながら、以下のとおり分析する。

■学校生活全般

- ・生徒の「1 入学して満足している」について、昨年度は一昨年度の91.2%から大きく値を下げ89.4%となったが、今年度は91.6%となり、一昨年度の数値に戻る形となった。ただ、学年ごとの数値を見ると、2年生79期生の数値は昨年度の1年次より上昇したものの、1、3年生と比べると低い状況は昨年度から変わらない。この79期生の数値については、この「1 入学して満足している」以外にも、「3 授業に満足している」など、他学年と比べると低い数値が多く見られる。引き続き、留意していかなければならない。なお、生徒の「14 学校に行くのが楽しい」は横ばい、保護者の「1 入学して満足した高校生活を送っている」、「13 学校に行くのが楽しいと言っている」はともに大きく値が上昇した。
- ・これら2つの項目については最も重要視し、意識しながら、これまで取り組んできたところである。今後も本校に入学してきた生徒たちから「岸高に入ってよかった」と言ってもらえるよう、学習に対する指導・支援を含めた教育活動の充実、さらなる教育環境の整備などに取り組んでいきたい。

■指導方針

- ・生徒の「2 授業や部活動に熱心な先生が多く、その指導方針に納得できる」は90.2%、保護者の「5 指導方針全般に共感できる」は92.8%と、どちらもここ3年で最も高い数値となった。学校の指導方針について、概ね、納得・共感してもらっているとはいえ、今後も様々な視点からの声を聞きながら、改善すべき意見の把握に努め、さらなる改善に向けた取組みを進めていきたい。
- ・保護者の「2 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている」は94.1%となり、数値が大きく上昇した。来年度も継続して、本校の教育方針や教育に対する校長としての考えを保護者の方に理解してもらえるよう、「校長ブログ」での発信をはじめ、様々な機会による取組みの発信に努めていきたい。

■学習指導

- ・生徒の「3 授業に満足している」は87.5%となり、昨年度86.0%と下げた数値を戻す形となったが、上記のとおり、2年生79期生の数値は他学年と比べて、極端に低い状況にある。2年生のみならず、授業に対する満足度を向上させることが、本校にとっての最大かつ喫緊の課題であると認識している。今回の自由記述や授業アンケートでも具体的な多くの意見をいただいた。こうした意見を十分に受け止め、すべての教員の教科指導力の向上に向け、組織的な授業改善の取組みを推進していきたい。
- ・生徒の「7 1人1台端末を積極的に活用している」は調査項目に加えた時点から年々上昇し、今回は94.6%となった。1人1台端末が導入されて5年めとなる。活用が定着してきた半面、今後さらに活用の幅を広げることが課題となってくると思われる。生徒一人ひとりが端末を有効活用できるよう、また、授業改善に効果的なツールとなるよう、学校として取組みをすすめていきたい。
- ・「6 課題研究をはじめとする探究的な学習や特色ある教育活動が行われている」について、生徒は95.0%と安定した高い数値となり、特に保護者は3年連続で数値が上昇し、今回は99.1%となった。課題研究についてはSSH 第Ⅲ期の取組みとして、「文理融合型課題研究」や「縦割り型課題研究」などに取り組み、充実に努めている。今後も、生徒たち一人ひとりが自ら設定した研究テーマを「自分事」として捉えながら探究的な実践を行うことにより、主体性や課題発見・解決能力、情報活用能力などの、これから求められる資質・能力の育成を図っていきたい。
- ・特色ある教育活動については、イギリス研修とオーストラリア研修の2本の海外研修の実施がこの数値の上昇に寄与したものとする。これらの海外研修にはたくさんの生徒が参加してくれている。今後もGLHSとして、SSHとして、参加生徒にとって意義ある様々な特色ある教育活動の充実に努めていきたい。

- ・生徒の「10 土曜日は学校や家庭において、学習時間として活用している」は、昨年度から「土曜日午前中」という限定を外した内容の項目であり、令和5年度の数値とは異なる。昨年度の66.1%より数値が上昇し71.6%となったが、本来は100%をめざすべき内容である。部活と勉強の両立に向けて、学習時間の確保が求められる中、学習習慣の定着が大きな課題である。学習時間の保障に向けた取組みの工夫・改善を行うとともに、生徒たちには引き続き、忙しい中での時間の有効活用を訴えていきたい。

■進路指導

- ・生徒の「9 将来の進路や職業などについて、講演会や説明会を実施するなど適切な指導をおこなっている」は95.7%と、ここ3年で最も高い数値となった。昨年度から「進路HR」として進路に係る内容のホームルームを増やしている。保護者の同様の項目について、昨年度は90.4%と下げてしまったが、今年度は94.4%と大きく上昇した。上昇した要因については進路指導部を中心に分析していきたい。
- ・今後も生徒一人ひとりが具体的な目標、「高い志」をもって学習に取り組むことができるよう、生徒に対する適切な進路指導を3年間で計画的に実施するとともに、保護者の方に対する進路に関する丁寧な情報発信と保護者懇談をはじめとした相談体制の充実を図っていきたい。

■生徒指導

- ・生徒の「12 あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある」は84.4%とほぼ横ばい、保護者の同様の項目については86.5%となり、この3年間で最も高い数値となった。今後も引き続き、生徒たちに人権感覚を涵養するとともに、人間性を高めることができるよう、学校として全教職員が一致して、あいさつやマナー指導をはじめとした生徒指導が行えるよう取り組んでいきたい。

■教育相談

- ・生徒の「8 いじめなど私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」は94.1%であり、3年間で最も高い数値となった。一方、保護者の同様の項目については88.5%となり、この3年間で数値は少しずつ下がっている。この保護者の数値が徐々に下がっている要因については検証していきたい。
- ・生徒の「11 保健室や相談室などで気軽に相談できる」は71.5%となり、昨年度の72.3%から数値がやや下がった。学習面や人間関係などで悩みを抱える生徒が一定数いる中、今後も保健室や相談室をはじめとした相談体制をさらに充実させ、生徒一人ひとりの支援に努めていきたい。

■学校行事・部活動

- ・「4 文化祭や体育祭、校外学習などの学校行事が盛んで、生徒は楽しく参加している」の項目については生徒が92.2%とほぼ横ばい、保護者は97.6%とこの3年間で最も高い数値となった。
- ・生徒の「5 部活動が活発で、生徒は部活動に熱心に参加している」は94.5%となり、数値はやや下がったが高い数値を維持しているといえる。

■発信・広報

- ・生徒の「13 メールサービスやクラスルーム、ホームページ、校長ブログ等によって、学校の情報が発信されている」は95.5%、保護者の同様の項目については95.7%とこの3年間で最も高い数値となった。今後も、校長ブログやInstagramをはじめ、様々な機会を通じて、今後もより一層、本校の教育活動を分かりやすく伝えていきたい。なお、ホームページについては現在、全面改訂中である。

■PTA活動等

- ・保護者の「9 学校行事やPTA活動に参加したことがある」は76.7%となり、数値は上昇した。文化祭や体育祭をはじめとした学校行事やPTA活動などにご来校いただいた保護者の皆さまに感謝する。
- ・保護者の「10 懇談や家庭連絡などを通じて、保護者と相談しやすい体制を作っている」は、昨年度75.1%と大きく下げてしまったが、今回はやや上昇した。とはいえ、一昨年度と比べると大きく下回っている。こまめな家庭連絡をはじめ、保護者と連携しながら、子どもたちへの指導・支援を行っていきたい。